

■ 「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」の体系

【基本目標1】新しい人の流れづくり

共通コンセプト「v s 東京」のもと、各世代にわたる東京からの移住をはじめ、大都市圏からの「新しい人の流れ」を生み出す

「とくしま回帰」を推進する。

- (ア) 住みたい・働きたい「とくしま回帰」の加速
- (イ) 「とくしま回帰」を呼び込む拠点機能の強化
- (ウ) 若者の「とくしま回帰」を生み出す大学等の活性化

【基本目標2】地域における仕事づくり

徳島の強みを活かした「産業競争力の強化」により、徳島に集う「ひと」が、魅力ある安定した「しごと」を創り出す「好循環」を加速する。

- (ア) 地域産業の未来に向けた競争力の強化
- (イ) 戦略的な観光誘客の推進
- (ウ) 地域産業の飛躍を支える人づくり

【基本目標3】結婚・出産・子育ての環境づくり

「切れ目のない次世代育成対策」を展開し、若者の結婚や出産に対する希望の実現をはじめ、「子育ての喜びを実感できる環境」を創造する。

- (ア) ライフステージに応じた切れ目ない支援の強化
- (イ) 若い世代の正規雇用のさらなる拡大
- (ウ) 仕事と子育てが両立する働き方の実現

【基本目標4】活力ある暮らしやすい地域づくり

「ひと」と「しごと」の好循環を強固に支え、安心して暮らし、学び、働き、子育てしやすい、笑顔に満ちた活力ある「まち」づくりを展開する。

- (ア) 課題解決先進地域づくりの加速
- (イ) 多様な人材が輝く地域づくりの加速
- (ウ) 時代に合ったふるさとづくりの加速
- (エ) 安心して暮らせる地域づくりの加速
- (オ) 地域間連携の進化

(例)

【基本目標1】新しい人の流れづくり

【目標】2020年までに、転入転出者数を均衡（社会増減0）

H27(4.1)	H28	H29	H30	H31	2020(H32)
△1,723人					→ 社会増減0

(ア) 住みたい・働きたい「とくしま回帰」の加速

①移住交流の推進

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					行動計画掲載箇所*
	H27	H28	H29	H30	H31	
■ 移住者数：850人（80人） ● 移住交流の支援体制を強化するため、移住情報をタイムリーに発信する「移住ポータルサイト」の開設や移住相談やしごとの提供を一元的に行う「移住コンシェルジュ」を配置した「とくしま移住交流促進センター」を設置します。＜政策＞ ○移住者数 ◎80人→③1850人	推進				850人	1-2-1
■ とくしま農林漁家民宿数（5か年の累計）：42軒（30軒） ● 四国4県が連携して四国のグリーン・ツーリズムを推進するとともに、インターネットを活用したグリーン・ツーリズムのPRを展開し、徳島の農山漁村への入り込み客数の増加を図り、活気あるむらづくりを進めます。 ＜農林＞ ○とくしま農林漁家民宿数（累計） ◎30軒→③42軒	推進					5-5-4 7-2-1
	34軒	36軒	38軒	40軒	42軒	
■ デュアルスクールのモデル化：H30試行（一） ● 地方と都市、双方のよさを体験することで、地方居住者と都市居住者の双方の視点に立った考え方のできる人材を育成する「デュアルスクール」のモデル化に取り組みます。 ＜教育＞ ○「デュアルスクール」のモデル化 ◎モデル試行	推進			モデル試行		1-2-1

*「行動計画」とは「新未来『創造』とくしま行動計画」を指す。以下同様。

②多様な人材環流

主要施策・主要事業の概要・数値目標	工程（年度別事業計画）					行動計画掲載箇所
	H27	H28	H29	H30	H31	
■ とくしまジョブステーション等を活用した就職率：40.0%（35.1%） ■ プロフェッショナル人材の正規雇用数（5か年の累計）：25人（一） ● 雇用関連サービスをワンストップで提供する「とくしまジョブステーション」等において、若年者、中高年齢者、U・I・Jターン希望者等を中心とした大都市圏からの就業を促進します。＜商工＞ ○とくしまジョブステーションを活用した就職率 ◎35.1%→③40.0% ○プロフェッショナル人材の正規雇用数（累計） ◎5人→③25人	実施					1-3-4
	36.0%	37.0%	38.0%	39.0%	40.0%	
	5人	10人	15人	20人	25人	